

唐津・玄海圏域 二級水系流域治水プロジェクト【イメージ】

資料 4

～ハード・ソフト一体となった事前防災対策の加速化～

○ 令和元年佐賀豪雨をはじめとした近年の激甚な水害や、気候変動による水害の激甚化・頻発化に備え、あらゆる関係者が協働して流域全体で水害を軽減させる治水対策、「流域治水」を計画的に推進する。

■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・河道拡幅、河道掘削、護岸整備、橋梁改築、排水機場点検更新 等
 - ・ため池の補強・有効活用
 - ・クリーク等の農業水利施設の整備及び有効活用
 - ・利水ダム等6ダムにおける事前放流等の実施、体制構築
 - ・森林の整備・保全
 - ・土砂や流木の流出抑制対策（砂防、治山） 等
- ※今後、関係機関と連携し対策検討

玉島川、横田川：河道拡幅、橋梁改築、樋管整備 等
有浦川：河道拡幅、橋梁改築 等

水源林の整備
（育成複層林）



施設利用者の避難

■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・早期避難の推進と防災情報伝達手段の強化
 - ・防災意識の向上に向けた、関係機関と連携した防災教育の推進
 - ・防災ハザードマップ・ため池ハザードマップの作成
 - ・簡易水位計、監視カメラの設置・整備
 - ・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成と訓練の促進
 - ・報道機関と連携した情報発信の強化
 - ・水害リスク情報の拡充 等
- ※今後、関係機関と連携し対策検討

■ 河川対策

- | | |
|------|------------------------------|
| 対策内容 | 河道掘削、河道拡幅、護岸整備、橋梁・堰改築、樋管整備 等 |
| 砂防対策 | |
| 対策内容 | 砂防関係施設整備 |

■ 被害対象を減少させるための対策

- ・一定規模以上の開発行為には貯留等を義務付け
- ・立地適正化計画の推進
- ・不動産取引時の水害リスク情報提供
- ・排水機場等の耐水化 等

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。



事前放流



貯留施設